

2022年度三郷サンサンハウス事業報告

(2022年4月1日～2023年3月31日)

I 事業実施の方針

[1 はじめに]

2022年の立ち上げ時から務めてきた理事長の勇退という大きな変革がありました。三郷サンサンハウスの新体制を軌道に乗せるために職員一同新しいリーダーを支え、共に力を合わせて邁進しました。事業所の設立の礎の理念を大切にしながらも、経営改善を心掛けてたゆまない努力を続けました。

A.1 年間の取り組み

- 県の助成金を活用し、前事業年度に引き続いて給与改定を実施しました。職員の離職を防ぐことは、結果として利用者への質の高い介護を提供できることに繋がります。
- 新型コロナウイルス感染症の流行は当法人を含め多くの利用者と介護事業所に影響を与えました。利用者と職員の両方の健康を守るために、感染拡大を防ぐことができる限りの対策を講じ、県の実施する研修等にも積極的に参加しました。

B.経営改善への取り組み

- 前事業年度の赤字決算を挽回するために、各事業所が各々予算を達成することに注力しました。
納得していただけるよう丁寧な説明をした上で長い間据え置きだった実費分の値上げを実施しました。
また経営的に要となる事業所には、法人内の他の事業所からの人員を配置する協力体制を取りました。
- 新型コロナウイルス感染症の状況を考慮しながら、時間を短くする、集まる人数を少なくするといった工夫をして、職員の質の向上の為に事業所研修や新任研修を少しずつ再開しました。

C.地域との関わり

- 年に二回発行するサンサンニュースを継続して近隣に配布しました。ニュースを読んだ方からの介護保険に対しての相談や質問に応じるなどして、地域へ貢献できる事業所を目指しました。
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、それまで実施していた近隣住民と関わる活動を断念せざるを得ない年度でした。
残念ですが高齢者に携わる事業所であることを慮り、慎重に判断しました。

[2. 特定非営利活動に係る事業]

(1) 介護保険法に基づくデイサービス事業及び第1号通所事業

今年度の実施計画なし

(2) デイサービスセンターくるみ（介護保険法に基づくデイサービス事業 A.1年間の取り組み 及び第1号通所事業）

- コロナの影響でやむを得ず休止することもありましたが、利用者が消毒やマスクにも慣れてきてくださり、感染対策を十分にしながら気持ちよく運動し、楽しく会話することができました。運動の必要性も、人との関わり大切さも身に染み込んだ年でした。
- 日常生活の中で、楽しいことだけでなく悲しいことや悔しいことがあったとき、家から一歩出てデイサービスくるみに来ていただき、身体的なリハビリだけでなく、心のリハビリをしていただく。くるみはその役割も担っていると自負し、お一人お一人に寄り添うことに努めました。

B.経営改善への取り組み

- 利用者に専門的なリハビリを受けてもらえることと共に、安心して過ごせる空間を提供できるよう努め、「来てよかった」と思ってもらえる事業所づくりを行いました。また地域の方が見学に来られ、家族のご利用につなげることができました。
- 職員の指導体制の振り返りをして、職員一人一人の成長につながる指導ができました。また、個々の目標を具体的に定めることで、各人の能力発揮に努めました。チームワークを意識してお互いに力を発揮できるパスが出せることで、さらに利用者に楽しんでもらえる空間づくりができました。
- 職員が資格を取得したことで、新たな加算を取得できました。
- 土日などの施設の空き時間に、死生観についての研修を開催できました。しかしウェブでの体操教室等は計画しましたが、実施に至りませんでした。

C.地域との関わり

- 地域においてはコロナの影響で運営推進会議は開催できませんでした。
- 介護保険外事業である「くるみ style」は昨年とほぼ同じ状況ですが、利用者の運動療法による身体状況の維持向上を支援できています。

(3) ヘルパーステーション（介護保険法に基づく訪問介護事業及び第1号

A.1年間の取り組み 訪問事業）

- 月平均で合計 65 名前後（内訪問ヘルパー利用者は 44 名、介護タクシーのみは 21 名）の利用がありました。1ヶ月の各支援の平均回数は、身体介護中心型が 96 回、生活援助が 218 回、介護タクシーが 98 回でした。
- ご自宅で最期を迎えられた利用者が2名おられました。ご本人が強く望まれ、ご家族も本人の希望に応じて支えられ、お二人とも穏やかな最後を迎えられました。

安心して自宅で過ごせるよう、医療と連携しながら本人や家族の不安や負担を軽減するよう支援しました。

- ケアマネと連携して栄養面や健康管理などの報告・連絡・相談をして、一人暮らしの方も安心して生活をできるよう、支援しました。

B.経営改善への取り組み

- 常勤 2 名(管理者、サービス提供責任者)、非常勤 9 名(ヘルパー7 名、ドライバー1 名、事務1名)で活動しています。

C.地域との関わり

- 連携する居宅支援介護支援事業所は 13 社、30 人以上のケアマネジャーから依頼を頂いています。情報共有をしっかりと行い、地域での役割を担ってきました。

(4) 小規模多機能ホーム萌の里 (介護保険法に基づく小規模多機能型居宅

A.1年間の取り組み **介護事業)**

- 前任者の退職により 5 月に管理者が交替しました。6 月からは理事長職も兼任し、模索しながらの1年間でした。

常勤転換を見据えて派遣職員を契約しましたが、ほとんど勤務に来ないまま退職となりました。人材紹介会社からの応募は都度面接を行いましたが条件があわずなかなか採用には至りませんでした。

家庭の事情等による退職が 3 名おりましたが、ハローワークや職員の知人紹介により、非常勤介護職 5 名、看護職1名の新入職員が入職し力を発揮しています。非常勤のリーダー職員 1 名を正規職員に転換しました。また、法人内の他事業所との兼務をする職員が増え、人手不足を補い合い、法人全体で協力して緊急利用や夜勤等にも対応しやすい体制を強化し、必要な人員配置を行うことができました。

- 新型コロナウイルス感染症では 7 月、8 月にクラスターが発生しました。9 月に奈良県感染対策認定看護師の実地研修を申し込み、助言頂いた内容から改善案を検討し、管理者、看護師、保健委員を中心に感染対策を徹底し継続しています。

10 月に感染が 1 名ありましたが、利用者、職員ともに感染者は出ず、拡大を防ぐことができました。

- 一人勤務の夜勤時に地震と火事が起きた場合を想定し、10 月に夜間の防災訓練を行いました。三室自治会防災部に協力いただき、通報、初期消火、屋外避難、救命措置などを訓練しました。訓練をして明らかになった職員の不安や疑問について活発な意見交換を行い改善に繋がりました。

B.経営改善への取り組み

- 平均 21 名の利用者登録を維持し、昨年度より平均で 4 名増えました。身体・精神状況に応じて区分変更申請をして介護度を見直しました。平均介護度は 2.9

でした。地域の必要に応じて登録利用者以外の短期利用を受け入れました。希望に応じていつでも泊まれる体制を整えたことで、一日平均 2.5 名の泊りがありました。訪問のみだった日曜日にも通いを再開しました。

- 食材費の高騰により、5 月に食事代を値上げしました。調理員が週 4 日勤務し、手作りでおいしく栄養価の高い食事を提供してきましたが、調理員の採用がなかなかできず、週 3 回は介護職員が調理を行ってきました。少ない人員の中、本来の介護業務を全うできるように、3 月から配食サービスも併用していくことにしました。
- 11 月より LIFE(科学的介護推進体制)加算を申請し、厚生労働省へ情報提供を行っています。

C、地域とのかかわり

- 今年度においても、人との関わりを制限しないといけない状態が続きました。例年行事の再開を望む声が聞こえてきますが、感染発生で通いの中止が続くと、体力や認知能力の低下など利用者の生活に大きな影響が出るため、なかなか決断ができない状況です。

地域で再開された体操・夜回り、防災訓練などは感染対策を十分に行ったうえで参加しました。三室自治会の和らぎの会へは利用者と一緒に参加したり、送迎を行ったりしました。また自治会のサロンでは認知症サポーターフォローアップ研修を行いました。地域にある介護事業所として、今後も継続して研修をしてほしいと依頼されています。

- 三郷町の長寿健康課や地域包括支援センターとの連携強化に努めました。2 件の事例相談を行い、グループホームや成年後見制度の利用など、新たな支援に繋げることができました。また新規登録や緊急利用の依頼受け入れ、看護学生の研修受け入れ等も行いました。
- 自転車やベッド、マスクや食器等、さまざまなご寄付を頂き活用させていただきました。不用品を処分する前にお声をかけてくださる方が多くおられることは、サンサンハウスや萌の里が地域の方と信頼関係を築いてきた証であり、とても嬉しくみなさんに感謝しています。
- 感染防止により運営推進会議を開催することができず、昨年同様活動報告書を作成し報告終了とさせて頂きました。

(5) 居宅介護支援事業所(介護保険法に基づく居宅介護支援事業)

A.1年間の取り組み

- コロナ禍も三年目に入り、当初の得体の知れないウイルスへの不安や恐怖はワクチン接種や感染対策により随分と和らぎました。一方でまだまだ自粛生活や待機期間等で閉塞感や孤立感が漂う中、利用者やその家族に寄り添った支援や十分な傾聴、より良い介護サービスを利用してもらう事で、安心して明るく穏やかに

過ごしてもらえよう心がけました。

- コロナ感染が起これるとそのたびごとに、利用者や関係各所へ感染拡大防止のため、迅速なサービス中止や漏れのない連絡調整、検査や受診の手配等、ケアマネジャーとしての的確な判断が求められ、コロナ対応という業務に疲弊することもしばしばありました。
- 一堂に会しての外部研修が年度後半には復活し始め、地域包括センターや地域ケア会議主催による研修会に出向き、事例検討会や介護・医療に関する講演を聞き、日々のケアマネジメントに生かしていけるヒントを得ることができました。
- 事業所内の新任研修で、「介護保険制度について」や「社会資源について」の内容でケアマネジャーが、また、職員研修の「認知症について」の講義ではキャラバンメイト(地域で暮らす認知症の人やその家族の支援やサポーター養成講座を開催)を担う主任ケアマネジャーが、それぞれ講師役を務めました。
- 非常勤のケアマネジャーが実務経験の日数及び時間を満たし、今年度秋から主任介護支援専門員研修を受講、年度末には主任ケアマネの資格を取得し、もう一人の非常勤の主任ケアマネと合わせて主任ケアマネ2名を在籍させることができました。

B.経営改善への取り組み

- 今年度もやはり、要介護者よりも要支援者の居宅への新規依頼が多く、全体の利用者数はほぼ維持できたものの、大幅な収益アップに繋げることができませんでした。
- 2022年度臨時介護報酬改定で介護職員等ベースアップ等支援加算が新設されたことにより、10月から居宅の職員の基本給や時間給も引き上げとなり、人件費が予算オーバーしました。

C.地域との関わり

- 地域で困りごとの相談があればできる限りスピーディーに丁寧に対応するよう努めました。
- 利用者が使っている地域の介護事業所との連絡を大切にし、情報共有し、様々な場面で協力体制が取れるよう努めました。

(6)ヘルパーステーション(障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援する

A.1年間の取り組み ための法律に基づく障害福祉サービス事業)

- 現在は家事援助1名、通院介助2名の合計3名が利用中です。

B.経営改善への取り組み

- 訪問は介護保険のヘルパーが兼務で行っています。障害の特徴についての理解や知識を深め、細やかな支援ができるように努めました。

C.地域との関わり

- 連携した特定相談支援事業所は2ヶ所です。通院介助(院内付き添い)の支援では、訪問看護事業所、成年後見人にも診察内容、かかった費用などを報告し

ています。

(7) 特定相談支援事業所(障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援す

A.1年間の取り組み るための法律に基づく特定相談支援事業)

- 管理者1名、相談支援専門員2名(いずれも居宅と兼務)の体制です。
- 3名の利用者それぞれの計画作成・モニタリングを行っています。
- そこに住んで生活の拠点があるからこそ、いろんな場所に生き生きと出かけていける慣れ親しんだグループホームに、65歳になっても住み続けられるよう、ご本人の意向に沿った障害福祉サービス継続を、町や関係事業所と連携を取りながら実現させました。(65歳になると、障害福祉サービスより介護保険サービスが優先となり、サービスを移行しなければならないのが基本原則。)

(8) 介護保険法に基づく訪問看護事業 今年度の実施計画なし

(9) サンサンサロン(自立支援事業)

A.1年間の取り組み

- 年齢とともに、細かい事がしづらくなってこれ、簡単にできて見栄えのいいものを繰り返し提案しましたが、難しいと却下されることが多数ありました。
- サンサン体操は認知症予防の脳トレゲームですが、年齢とともに体力が衰えた方がふえ、楽しく体を使う簡単なストレッチやリズム体操の時間を増やしました。

B.経営改善への取り組み

- サンサンニュースに新規会員募集の記事を載せました。利用者の知人・お友達へのお誘いをお願いしました。

C.地域との関わり

- 三郷町の文化祭に作品展示ブースをと声をかけていただきましたが、準備期間が短い事と、作れる人材が少ない事でお断りしました。

(10) 高齢者の家あかねの里(共同住宅事業)

A.1年間の取り組み

- コロナ感染が拡大する中、まん延することなく最小限に抑える事ができました。
- かかりつけ医と連携し、急な体調の変化にも対応し安心して生活が送れるように努めました。
- ご入居者の状態により支援の方法や内容を考え、本人が希望される支援に努めました。

B.経営改善への取り組み

- コロナの影響による急な欠勤も、職員の勤務の組み替えや他の事業所の管理者に助けをもらい乗り切ることができました。
- 入居者との時間を大切にし要望や希望を聞き、職員で話し合いアイデアを出し合いました。

C 地域とのかかわり

- 地域の方があかねの里を訪ねてくださり、ボランティアの申し出がありました。
- サンサンハウスの利用を考えていただいた方には、ケアマネジャーに連絡をとりお話をさせていただきました。

(11) 24時間生活支援事業(たすけあいの会)

A.1年間の取り組み

- 今年度、月平均では6名、36回程度の利用がありました。
不定期・定期のゴミ出し、掃除、カーテンの洗濯などの介護保険ではできない支援などでも利用していただきました。

B.経営改善への取り組み

- 訪問ヘルパーやサンサンハウスの職員が兼務して活動しました。体調や生活での困りごとの相談に対しての助言を行うなど、介護事業所のメリットを活かした支援を行いました。

C.地域との関わり

- 地域包括支援センターを通じて、認定を受けることができず、介護保険が使えないが困っている方がいると依頼を受け支援しました。

(12) ボランティア育成及び広報・研修事業

A.1年間の取り組み

- 年2回地域に配布しているサンサンニュースは、当法人の広報の要であり、配布後には読まれた方からの問い合わせや相談の連絡が増えています。
- コロナ感染の収束の見通しが立たない為、ボランティアの皆さんとの親睦会を開催できませんでした。感謝の気持ちとして記念品をお渡ししました。
- コロナ感染に気を付けながら、時間や集まる人数を考慮して事業所内研修や新しく入職した職員を対象とした研修を実施しました。介護技術のスキルアップや法人に関する理解を深めました。

B.経営改善への取り組み

- サンサンニュースの折作業や配布には職員やボランティアの協力を得て、手作業でコスト軽減に努めています。

C.地域との関わり

- 当法人を知ってもらおう一助として、本部建物前の掲示板を活用しました。季節の装飾などを工夫することで通りがかりの人の目に留めてもらうようにし、サンサンハウスの基本的な活動内容をお知らせしています。

(13) 福祉タクシー（外出支援事業）

A.1年間の取り組み

○送迎は介護保険利用が主で、保険外の福祉タクシー利用回数は月平均2回程度でした。

○利用ごとの清掃、消毒、換気を徹底し、安全に気持ちよく利用いただけるよう努めました。

B.経営改善への取り組み

○普通自動車二種免許と介護福祉士資格を持つドライバー1名、登録車両1台で送迎を行いました。安全運転と安心できる乗降介助技術で、また利用したいと仰っていただけるような対応を心掛けました。

○利用は予約制ですが、近隣のケアマネジャーや病院からの依頼があるときには、可能な限り緊急利用にも対応しました。

C.地域との関わり

○三郷町、平群町、王寺町のタクシー券が利用できるため、地域の方からの依頼がありました。

(14) 給食サービス事業 今年度の実施計画なし

(15) グループホーム事業 今年度の実施計画なし

(16) 地域交流支援事業

A.1年間の取り組み

○本部玄関フロアで通年、サンサンサロンでの手作り作品や会員の方が作成したトールペイントやクリスマスの飾り物といった、季節に応じた品物を展示販売しています。干支にちなんだ人形が好評でした。

○職員による生け花や利用者の撮った写真や色紙などを展示しています。

C.地域との関わり

○建物が住宅街に位置している為、地域の方が立ち寄り、散歩途中の休憩や相談の場として活用してもらえました。

○コロナウイルス感染の可能性がある為、萌の里で開催していた「おばあちゃんの駄菓子屋さん」「観月際」など地域住民との交流の場を再開することができませんでした。

[3. その他の事業]

(1) 物品販売事業

A.1年間の取り組み

○地元農家から無農薬のほうじ茶や評判の良い緑茶などを揃えて販売しています。また季節に応じた手作りの品を職員が用意しました。

C.地域との関わり

○朝採りの新鮮な野菜を市場より安価な価格で提供して、利用者や地域の方々に喜ばれています。

II 事業の実施報告に関する事項

[1. 特定非営利活動に係る事業]

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従業員の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出見込額(千円)
介護保険法に基づく デイサービス事業及び 第1号通所事業	認知症対応型デイサービス	今年度事業計画なし		0		
介護保険法に基づく デイサービス事業及び 第1号通所事業	機能訓練型デイサービス	通年	デイサービスセンターくるみ(東信貴ヶ丘1-2-27)	9	三郷町周辺の 要介護者 延べ2,000人	10,941
介護保険法に基づく訪問 介護事業及び第1号 訪問事業	訪問ヘルパーの派遣サービス	通年	要介護者の自宅	11	三郷町周辺の 要介護者 延べ800人	17,440
介護保険法に基づく小 規模多機能型居宅介 護事業	通い・訪問・泊りのサービスで 利用者の在宅生活を1日24時 間365日を支援	通年	小規模多機能ホーム萌の 里(三郷町三室2-5-22) 及び利用者の自宅	20	三郷町周辺の 要介護者 延べ210人	48,074
介護保険法に基づく 居宅介護支援事業	相談援助及び介護支援計画作 成	通年	要介護者の自宅	4	三郷町周辺の 要介護者 延べ1200人	9,481
障害者の日常生活及 び社会生活を総合的 に支援するための法律 に基づく障害福祉サー ビス事業	障害者の自立支援のための サービス提供	通年	要介護者の自宅	3	三郷町周辺の 要介護者 延べ30人	227
障害者の日常生活及 び社会生活を総合的 に支援するための法律 に基づく特定相談支援 事業	障害者の自立支援のための相 談支援	通年	要介護者の自宅	3	三郷町周辺の 高齢者 延べ20人	76
介護保険法に基づく訪問 看護事業	ケアプランによる訪問看護	今年度事業計画なし		0		0
自立支援事業	介護保険外の介護予防デイ サービス	週3回	サンサンサロン (美松ヶ丘東1-10-9)	1	三郷町内の高齢 者延べ330人	352
共同住宅事業	住宅型有料老人ホーム	通年	高齢者の家あかねの里 (東信貴ヶ丘1-5-12)	10	三郷町内の要介 護高齢者 延べ72人	6,653
24時間生活支援事業	高齢・障害・疾病・育児・出産 等で支援が必要な人への24時 間支援事業	随時	利用者の自宅	10	三郷町周辺の 利用者 延べ80人	301
ボランティア育成及び 広報・研修事業	地域住民や介護従事者等を対 象にした介護技術や知識等の 研修事業	通年	三郷町周辺	5	三郷町周辺の 住民不特定多数	261
外出支援事業	要介護・要支援・身心障害者 等の通院等の移送支援	通年	利用者の自宅から病院等 外出目的地	1	三郷町周辺の 高齢者等 延べ20人	34
給食サービス事業	楽しい会食、配食で在宅高齢 者の食生活を支援する	今年度事業計画なし		0		0
グループホーム事業	認知症高齢者を対象としたの 共同住宅	今年度事業計画なし		0		0
地域交流支援事業	地域の人々の要望を取り入れ た交流の場の提供	通年	萌の里あづまや(三郷町三 室)、デイサービスくるみ (三郷町東信貴ヶ丘)	10	三郷町周辺の 住民不特定多数	526

[2. その他活動に係る事業]

物品販売事業	新鮮・安全野菜や食料品、手 作り品などの販売。 収益は非営利活動に充当。	通年	事務局ホール(三郷町東 信貴ヶ丘1-2-27)	4	三郷町周辺の 住民不特定多数	105
--------	--	----	----------------------------	---	-------------------	-----